

# ネットワークアンケート ②③

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

## Q. 新型インフルエンザ流行に対して、 どのようにお感じになりますか？

今年は季節性インフルエンザに加え、新型インフルエンザが猛威を振るっています。医療スタッフはその対応策に追われ、マスコミ報道に翻弄されがちな糖尿病患者さんは、感染に対して不安な日々が続いているのではないのでしょうか。今回は、その状況を皆さんにおうかがいしました。

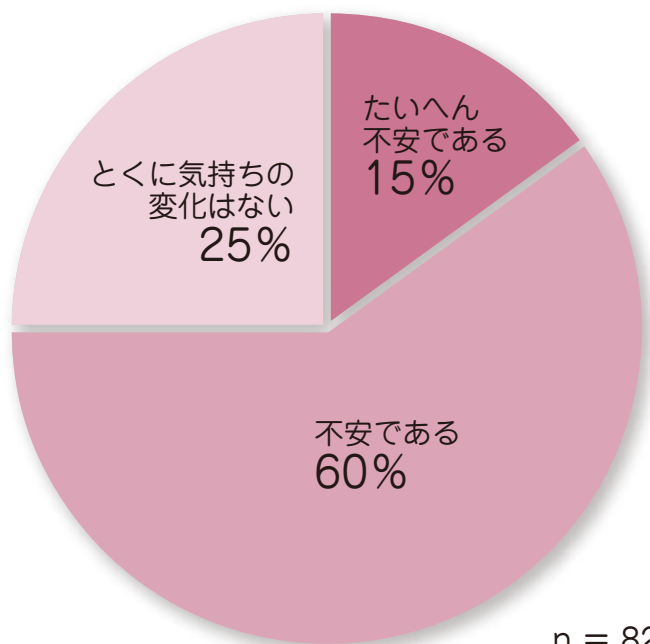
[回答数：医療スタッフ82(医師21、看護師29、准看護師1、管理栄養士14、栄養士2、薬剤師5、保健師4、臨床検査技師3、理学療法士3。うち日本糖尿病療養指導士19)、患者さんやその家族443名(病態/1型糖尿病183、2型糖尿病240、糖尿病境界型13、妊娠糖尿病2、その他5、治療内容/食事療法を行っている290、運動療法を行っている231、経口薬を服用している201、インスリン療法281/重複回答あり)]

\*数字は、アンケートを実施した昨年11月上旬時点での状況を反映したものです。

「たいへん不安」、「不安」を合わせ、75%が「不安である」との回答でした。「不安」の内容では、「ワクチンの確保」や「感染者の受け入れ体制」、「患者さんへの予防対策・事前指導」のポイントが高く、「ワクチン接種についての情報提供に時間を費やされている」「不安をあ

おるマスコミ報道で、患者さんは漠然とした恐怖心が先行している。」といった懸念の声も多く寄せられました。また、「高血糖により感染症に対する抵抗力が弱まる、という指導が例年より浸透し、患者さん自身の療養意識が増している」などの意見もありました。

さらに、通院する糖尿病患者さんの新型インフルエンザに対する関心の高さについて、76%の医療スタッフが「高い」と実感されているなか、情報提供を「積極的に行っている」と回答したのは4人に1人と、受け身の傾向が見受けられました。



## Q. 新型インフルエンザ流行に対して「不安である」と回答した方におうかがいします。 どのようなことに不安を感じますか？ (複数回答可/n=60)

ワクチンの確保について	65%
感染者の受け入れ体制について	63%
糖尿病患者さんへの予防対策や事前指導について	63%
自分も感染するかもしれない	35%
最新情報を入手できているか	33%
治療薬の確保について	32%
その他	5%

- ・大流行した時の対応(方針やマニュアルなど)を院内で決めていない。
- ・重症化する患者もいる可能性があること。
- ・正しい対応ができていないか(実情・事実に基づく、迅速かつ過剰でない対応)。

## Q. 貴院の糖尿病患者さんへの新型インフルエンザに関する情報提供は？

